

質問者  
畠山剛一議員

## 子どもたちの学習環境について

昨年の夏は記録的な猛暑で、全国では熱中症による救急車での搬送が5万3千人をこえ、そのうち503人が死亡した。たつの市においても、昨年の夏は44人と、前年の3倍の方が熱中症で搬送されたと聞いた。温暖化の影響で、夏の平均気温は上昇し、昨年のようないじりをしている汗が噴き出す猛暑が2度とないとはいい切れないと思つ。とともに学校建築は断熱性も低く、窓面積が大きいことで気温が上がりやすく特に最上階の教室などは、真夏には屋上が焼けて35℃になることがある。

問 今や整備がされて当たり前の公共施設の空調設備を、なぜ、学校だけ進めないのか、今後の工

現在、市内小中学校及び、主な公共施設にAEDの設置を行って頂いているが、せっかくのAEDの設置場所が、建物の中であるため、休日や夜



## AEDのパネル設置について

多くの窓により、風も通りやすい校舎の配置や構造になっており、そして子どもの時は、自然の暑さ、寒さを感じて体験することは、健康や生

活の面からも必要であり、教室に扇風機の設置は、考へていない。また、太陽光パネルの設置については屋上が設備の設置の荷重に耐えられないなどの理由により、考へてい

多くの窓により、風も通りやすい校舎の配置や構造になっており、そして子どもの時は、自然の暑さ、寒さを感じて体験することは、健康や生

活の面からも必要であり、教室に扇風機の設置は、考へていない。また、太陽光パネルの設置については屋上が設備の設置の荷重に耐えられないなどの理由により、考へてい

間は使用出来ず、1分遅れると生存率が、約10%下がるといわれている心停止。仮に、119番通報してから、救急車の到着まで時間がかかる。私たちが思っている以上に、心臓突然死による死亡例は多く、年間4万人。1日に100人以上の人が、心臓が原因で突然死していると、いわれている。誰にでも起こりうる。誰にでも起こりうる心停止から命を救うには即座の対応が必要である。

問 東日本大震災の発生から3ヶ月が経過した。こういう時こそ、政治的立場の違いを越えて国の大震災を乗り越えるとともに、国民誰もが安心して暮らせる新しい日本を築くことが求められる。

問 東日本大震災の発生から3ヶ月が経過した。こういう時こそ、政治的立場の違いを越えて国の大震災を乗り越えるとともに、国民誰もが安心して暮らせる新しい日本を築くことが求められる。

問 地震災害対策として、避難場所の耐震化が課題であるが、進捗状況はどうか。

答 市立学校の体育館の耐震工事は平成23年度中に完了予定。他の避難所である公共施設は25施設内の13施設が完了している。

問 津波対策はどうなつていているのか。

答 現在のマグニチュー

ド8・4を9・0に、津

波高を現行の2倍に想定し、沿岸部の標高35mラ

インの山を避難場所として確認した。

問 昨年度自治会に依頼

した「第1次避難場所及

び避難経路の確認」につ

いて、どのような活用を

考えているのか。

答 災害時の住民行動の

初動体制、危険な箇所の

再確認、土砂災害対策や

交通安全対策など、地域

に合った防災安全マップ

として、自主防災訓練等

に活用していただくよう

啓発している。

問 この大震災により、原子力発電の問題が世界

的に顕在化した。ドイツ

やスイスの原発廃止の決

定、イタリアの国民投票

による94%の原発反対、

各市議会での全会一致で

の脱原発の意見書採択な

ど、大きな動きがある。

約50年前、このたつの市

(御津町) でも全国2番

目の原発の計画が新聞報

道で表面化した。

たつの市は原発について、どのような見解を持っているか。

答 東京電力の原発事故

は、国民生活に非常に大

きな影響を与えており、

原子力の危険性を改めて

認識させられた。現在、

国際的にも様々な論議が

されており、本市におい

ても各会議のなかで協議

をしているが、結論は出

ていない。

文章は、質問議員が1000字以内でまとめたものです。